

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業計画（案）

『まだまだ男社会の「おおいた」地域創生に貢献する女性研究者支援・育成 － 若者人口減少地域の産学連携ダイバーシティ推進モデル 』

目的

代表機関が先導し、地域の中核的な発酵企業2社（フンドーキン醤油株式会社、三和酒類株式会社）、大手ゼネコン企業（三井住友建設株式会社）、大分高専を共同実施機関として、女性研究者をリーダーとした産学連携研究を展開する。女性研究者・技術者が主役となった地域創生を例証することで、女性の意識向上とともに男性の潜在意識の改革につなげ、ポジティブ・アクションを含めた女性の上位職比率と研究・技術者比率の増加、職域拡大を目指す。さらに「ひとの創生」活動をソフト面で支援しリーダー育成につなげるため、大手企業の地域工場（住友化学グループ、キャノングループ）が協力機関として参画し、両立支援の好事例の発信、女性リーダー塾の共同開講など地域での産学連携型ダイバーシティ推進の仕組みを確立する。さらに、この仕組に参入する企業数を増やす。

平成 29 年度取組骨子

1. 地域拠点会議としての「おおいた連携ダイバーシティ推進会議」の設立とその共同展開

連携会議第1回目 10月予定

連携活動していくネットワーク会議を新設。実務者が参加。まず第一回の会議で本事業のミッションとアクションについて協議する。これまで大分大学が展開してきた両立支援体制の紹介、女性研究者の昇進とポジティブ・アクションとの関係（アンケート調査含）、共同研究の公募の審査、実施などについても協議する。第2回、第3回も今年度内に開催予定。

キックオフシンポジウム 今年度内

大分市内ホテルで機関代表者の他、自治体等関係者をお招きして開催する予定。講演会も行うことにしている。

交流会(1~2回) 今年度内

異分野の女性研究者・技術者、ダイバーシティ推進に関わる職員の交流会を開催し、どのような能力の育成が有効でその方法はどうすればよいのかなどの議論を開始する。

ダイバーシティセミナー

ダイバーシティ講演会の開催やセミナー受講者による発表により参加者全員でダイバーシティに関する意識の共有と学習を行う。

2. おおいた女性研究者リーダー塾

1) 産学共同研究の立ち上げ

研究チーム形成 10月目途

2) キャリアアップにつながるセミナー

①スキルアップセミナー 今年度内

②研究倫理教育セミナー 今年度内

まだまだ男社会の「おおいた」地域創生に貢献する女性研究者支援・育成
 — 若者人口減少地域の産学連携ダイバーシティ推進モデル

